

地域活性化の課題構造の解明 畜産業を事例として

著者	齊藤 俊幸
発行年	2022-09
その他のタイトル	Elucidation of the problem structure of regional revitalization using the livestock industry as an example
URL	http://doi.org/10.32149/00002495

氏名(本籍)	齊藤 俊幸 (東京都)		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	甲第 394 号		
学位授与年月日	令和 4 年 9 月 21 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Elucidation of the problem structure of regional revitalization—using the livestock industry as an example (地域活性化の課題構造の解明—畜産業を事例として)		
論文審査	(主査)	高知工科大学 教授	那須 清吾
		高知工科大学 教授	林 一夫
		高知工科大学 准教授	上村 浩
		高知工科大学 教授	土屋 哲
		高知工科大学 名誉教授	富澤 治

審査結果の要旨

1. 論文の評価

本研究は、畜産業で生まれている現象に着目し、産地間競争で成長する産地や疲弊する産地の実態を分析した結果、競争と非競争、地域活動と地域外活動の組み合わせにおいて、若い移住者（後継者）と地域のリーダーが役割分担することで地域が自立的に活性化できる新たな地域活性化モデルを提示した点で新規性が高く、社会的インパクトが大きいと評価できる。

多くの事例研究から集落維持を図るためには、地域ビジネス、若者の存在承認、リーダー、マネージャー、後継者が必要であるといった従来からある要素において、地域では主として若い移住者（後継者）である個人が小さな規模の地域ビジネスの価値創造を競争する事業展開とともに集落が求める非競争の価値の担い手であり、彼らが生産する社会的価値により集落は維持されること、自立とはほど遠い地域が多数存在する中で、非競争な姿勢から生まれる生き方の集積は、地域の自立を誘導することができる。

一方、地域外では、地域ビジネスを束ねることにより、市場環境においても付加価値の高い製品を求める消費者に選ばれる。この場合、従来市場の規模拡大や成長を志向せず、適正規模の生産と収入により、幸せな家族、豊かな生活、マイペースなどを支える。

この研究成果は、今後の地域が生き残る上で新たな地域活性化モデルを提示したと評価できる。

2. 審査の経過と結果

- (1) 令和 4 年 6 月 20 日 5 名の審査委員のもと協議され、博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定した。
- (2) 令和 4 年 8 月 19 日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 令和 4 年 9 月 2 日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。